

## Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI  
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

## マーケットサマリー

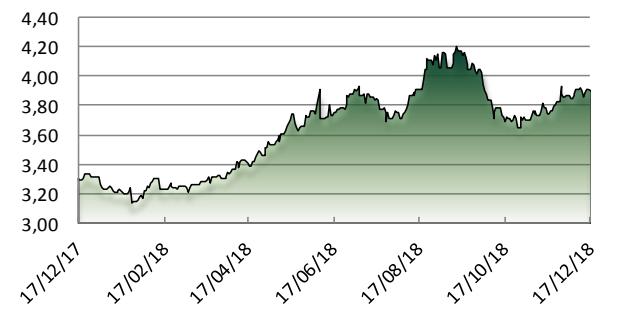
昨日のドルレアルスポット相場は、米国の製造業や住宅指標の悪化、米株価の下落などリスクセンチメントが悪化するマーケット状況でもレアル買いが優勢となり、一時3.87台後半までレアル高が進行。米景気の減速懸念が高まる中、本日18日から2日間の日程でFOMCが開催予定。経済指標の悪化を受けて来年以降の利上げ回数見通しが下方修正されるとの見方が強まっているが、それがレアルを含む新興国通貨のサポート材料になった可能性もある。本日のアジア時間には、中国の習近平国家主席が改革開放40周年大会(中国に成長をもたらした鄧小平氏の改革開放政策は1978年12月の党中央委員会総会で正式に決定した)で演説を実施。通商政策に関して踏み込んだ発言が行われるとの見方も一部で浮上していたが、今後の政策について継続性を強調する以外、ほとんど手掛かりは示されなかった(①中国は多国間貿易システムを促進する、として、米国との貿易戦争について直接的な言及はなし、②中国は自身の考えを他国に押し付ける国に反対する、③中国の発展はいかなる国に脅威にならない)。なお、中国は来年の経済政策運営の方針を決める中央經濟工作会议を今週19-21日に開催予定としており(政策の優先課題を設定し、具体的な目標は来年3月の全国人民代表大会で公表)、「海外投資家はここで今後の政策トーンの見極めを行なうべき」との声も聞こえている。米国との貿易協議期限は来年3月1日に設定されており、依然として摩擦は継続している。引き続き、レアル相場の動向にとっても注意を要するイベントと言える。

## マーケットデータ

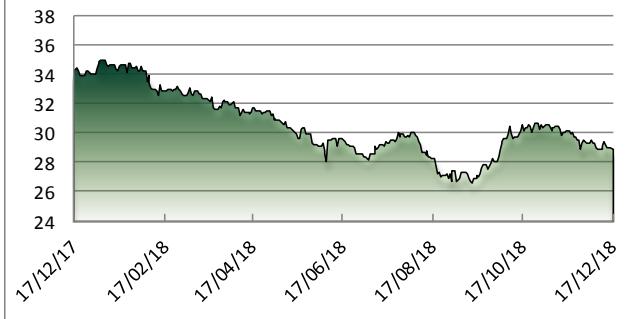
Indicator		Unit	12月14日	12月17日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,9135	3,9020	-0,29%	4,36%	3,1210	4,2146
	対円	JPY	28,98	28,91	-0,24%	-4,17%	35,13	26,39
	対ユーロ	BRL	4,4227	4,4289	0,14%	3,77%	3,8531	4,9213
円	対ドル	JPY	113,39	112,83	-0,49%	0,00%	104,56	114,55
	対ユーロ	JPY	128,19	128,03	-0,12%	-0,61%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		87,450	86,400	-1,20%	-2,39%	91,242	69,069
CDS Brazil 5yrs	bps		198,70	198,40	-0,15%	-3,19%	311,85	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		9,65	9,65	0,00%	-4,61%	12,60	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%		6,40	6,40	-0,02%	-0,39%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,8007	2,8007	0,00%	5,91%	2,8007	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		180,31	177,92	-1,33%	-5,01%	206,95	177,79

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



〈オプスマン連絡先: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。